

法蔵 269号 日が長くなりましたね号

・ 6月13日・14日と永代経法要が勤められました。多くの方のお参りを頂き、おにぎり、ぶた汁、歌登の山菜のおときを頂きました。布教使さんのお話しは、いかがでしたか？声が聞き取り難いということはあって申し訳けなかったのですが、お話しのご感想をお聞かせいただければ、大変有り難いです。よろしくお願ひ致します。

永代経に関してのことは、どのようなことでもお気軽にお聞きください。

7月12日は、お盆前の最後の定例法話会です。20人をめざしております。どうぞ、お参りください。

「月に一度2時間、仏さまのお話しに耳を傾けてみませんか！」

・ 7月12日 午後0時より 「定例法話会」 布教使さんは、佐々木強師（札幌市 栄光寺）です。お参りをして、カレーライスを食べ、お話しを聞きましょう。お待ち致しております。 (6月21日記)

「聴聞は、他人ごとを、自分のことだと教えてくれる」

(あるお寺の掲示版より)

「祝婚歌」 吉野 弘

| | |
|-----------------------|---------------|
| 二人が睦ましくいるために | 愚かであるほうがいい |
| 立派すぎないほうがいい | 立派すぎることは |
| 長持ちしないことだと気付いているほうがいい | |
| 完璧をめざさないほうがいい | 完璧なんて不自然なことだと |
| うそぶいているほうがいい | 二人のうちどちらかが |
| ふざけているほうがいい | ずっとけているほうがいい |

| | |
|----------------|--------------------|
| 互いに非難することがあっても | 非難できる資格が自分にあったかどうか |
| あとで | 疑わしくなるほうがいい |
| 正しいことを言うときは | 少しひかえめにするほうがいい |
| 正しいことを言うときは | 相手を傷つけやすいのだと |
| 気付いているほうがいい | |
| 立派でありたいとか | 正しくありたいとかいう |
| 無理な緊張には | 色目も使わず |
| ゆったり ゆたかに | 光を浴びているほうがいい |
| 健康で 風に吹かれながら | 生きていることのなつかしさに |
| ふと 胸が熱くなる | そんな日があつていい |
| そして | なぜ 胸が熱くなるのか |
| 黙っていても | 二人には わかるのであつてほしい |

- ・ 緑が鮮やかになる季節になってきました。切った榆の木にも緑の葉が出てきました。土に触れる時です。大地からいのちのぬくもりをいただきたいものです。

「信心とは、気楽になるのでもなく、
気張るのでもない。驚きである。」(伊奈祐諦)

- ・ 忠峰コーナー

「山菜の季(き)に入り来り 授産所

にわかには工場 にぎわえるかな」

「萎(しお)れるな 元気で生きよと 手を振って

故郷離るる 友を送るや」 (5月31日記)